

## 1. 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業

### (1) バイオ産業の推進

研究成果の事業化や、研究成果を地域産業に活かす事業をミッションとするバイオクラスター形成プロジェクトを山形県とも積極的な連携を行いながら展開する。

#### 【事業】

#### ①産業誘導・産業形成促進・共同研究創出

##### i. 産学官研究交流推進事業

バイオ分野における産学官連携の取り組みを全県的なものとし、バイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの推進を目的として、山形県と庄内地域産業振興センターと協同し、研究者等の研究交流会、研究発表会等を開催する。

※H24からの継続事業

##### ii. 市先端研究産業支援センターへの誘致活動・情報収集

市先端研究産業支援センターへの誘致活動を行うとともに、バイオ産業化に資する最新情報収集活動を行う。

##### iii. サイエンスパーク構想実現に向けた各種支援

サイエンスパーク未着手14haの民間開発を着実に促進するため、各種手続き等への協力や指導を県と連携して行う。本取組は若年層や優れた人材の流入や定着、交流のほか、地域産業の高度化や知識集約型の創造や誘致にもつながる公益性を有することから、優良な事例調査、外部資金等の情報収集を行い、官民一体となった事業展開が図られるように県と連携して各種支援策について検討する。

##### iv. 合成クモ系繊維を核とした産業戦略

スパイバー社が進める合成クモ系繊維の各事業分野への応用がサイエンスパークエリアで着実に展開されるよう、地元企業との連携や県内外の関連企業の誘致、必要な環境整備などを戦略的に展開していく。

#### ②地元企業等との共同研究の促進

##### i. 「鶴岡漢方プロジェクト」

漢方生薬の産地化に向け、試験栽培を中心とした諸事業に取り組み、漢方生薬栽培方法の知見獲得を目指す。

※H27実績 生薬試験栽培、栽培検討会議の開催など

##### ii. 地域バイオマス資源活用研究事業

合成クモ系繊維の事業化促進において構造タンパク質原料の生産プロセスにおける地域バイオマス資源の有効活用の可能性について、企業、県試験研究機関等による研究会を設置し、栽培試験及び利用可能性調査等の研究を行う。

#### ③新たな産学官連携研究の仕組み創出

##### i. 地域農産物高付加価値化推進事業

慶應先端研の世界最先端の成分分析能力を生かした、地域農産物の高付加価値化（メタボローム認証制度）を図り、域外販売、海外輸出等を推進する基盤づくりを行う。

#### ④研究開発拠点の基盤形成

##### i. ベンチャービレッジ構想推進事業

バイオサイエンスパークの拡張を視野に入れつつ、新たなベンチャー企業・研究機関の誘導に関する構想を推進する。

## (2) 市民の健康長寿の推進

市民の健康長寿への取り組みとして、「鶴岡みらい健康調査」を慶應先端研、地域医療関係機関及び市において協同実施する。

### ①鶴岡みらい健康調査の協同実施

※H24からH26までの同意者数実績11,002名（3年間の目標 10,000名）

#### i. 推進会議の開催

本調査事業の推進を目的として、関係団体間のオーソライズを図りながら、本調査事業の進捗・運営管理や本調査事業の推進に資する諸案件を検討する「推進会議」を開催する。

※平成25年3月16日に推進会議を設置 平成27実績：平成28年3月5日に開催

#### ii. 推進セミナーの開催

市民の理解促進及び市民への成果還元を目的として、本研究の概要を紹介するとともに、市で取組む意義やコホート研究が生み出す多様な可能性などについて、市民とともに考えるセミナーを開催する。

※H27実績 平成28年3月6日に第4回セミナーを開催

#### iii. 地域報告会

市民の理解促進及び成果還元を目的として、各地域における保健事業との連携のもと、市民の健康に資する情報とともに、鶴岡みらい健康調査における活動報告、成果の途中経過報告などを行う。

## 2. 第6回高校生バイオサミット in 鶴岡 開催事業

日本の科学の将来を支える新しい人材の育成と、科学技術の振興・発展を目的として、バイオサイエンスに興味・関心を持つ全国の高校生が集い、研究発表とディスカッションを行う高校生バイオサミットを開催する。

○日時：平成28年7月31日～8月2日

○会場：鶴岡市先端研究産業支援センター ほか

H27実績 平成27年8月第5回サミットを開催（発表数：82作品、参加者数：215名・75校、教職員82名、表彰交付：文部科学大臣賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、科学技術振興機構賞、慶應義塾賞、県知事賞、市長賞 ほか）